



公道走行用ランプキット

Workman® 汎用作業車

モデル番号 147-2798

取り付け要領

注 このキットを取り付けるためには、ブレーキ方向指示器キットToro P/N 140-4785 ワークマン GTX 用、145-2082ワークマン MDX用、または 145-2296ワークマン HDX 用を取り付ける必要があります。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	ワイヤハーネス ナンバープレート・ブラケット ナンバープレート用ランプ 六角ソケットヘッドボルト (#10 x 1") クリップナット 六角フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" ケーブルタイ	1 1 2 4 4 4 1	ナンバープレートブラケットとワイヤハーネスを取り付けます。
3	銘板 ポップリベット 3 x 10 mm	1 4	銘板を取り付けます。
4	プレート取り付けブラケット 速度表示板 25 km/h ポップリベット 3/16 x 15/16"	2 3 17	速度表示板を取り付けます GTX のみ。
5	速度表示板 25 km/h ポップリベット 3/16 x 15/16"	3 9	速度表示板を取り付けます GTX のみ。
6	速度デカル 32 km/h	3	速度デカルを取り付けます HDX のみ。
7	方向指示器ライト用ブラケット キャリッジボルト #10 x 1/2" ロックナット #10	2 4 4	方向指示器ライト用ブラケットを取り付けます HDX のみ。
8	必要なパーツはありません。	—	組み立てを完了します。
9	必要なパーツはありません。	—	ランプの点灯確認を行う。



1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. バッテリーの接続を外す; 各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

2

ナンバープレートブラケットとワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
1	ナンバープレート・ブラケット
2	ナンバープレート用ランプ
4	六角ソケットヘッドボルト (#10 x 1")
4	クリップナット
4	六角フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"
1	ケーブルタイ

ナンバープレートブラケットとワイヤハーネスを取り付ける

1. ナンバープレート用ワイヤハーネスを、ナンバープレート用ブラケットの上辺に沿って配設する。大きいコネクタ2個とヒューズは左側に配置する 図 1。
2. ワイヤハーネスを、ナンバープレートブラケットに固定するハーネスについている押し込みファスナー4本をブラケットの穴に押し込んで固定する 図 1。
3. ハーネスについているコネクタをブラケットの左右どちらかの大きい穴に通し、それぞれのナンバープレートランプに接続する 図 1。
4. ブラケットにランプを固定する六角ソケットヘッドボルト#10 x 1"4本とクリップナット4個を使用して 図 1 のように取り付ける。

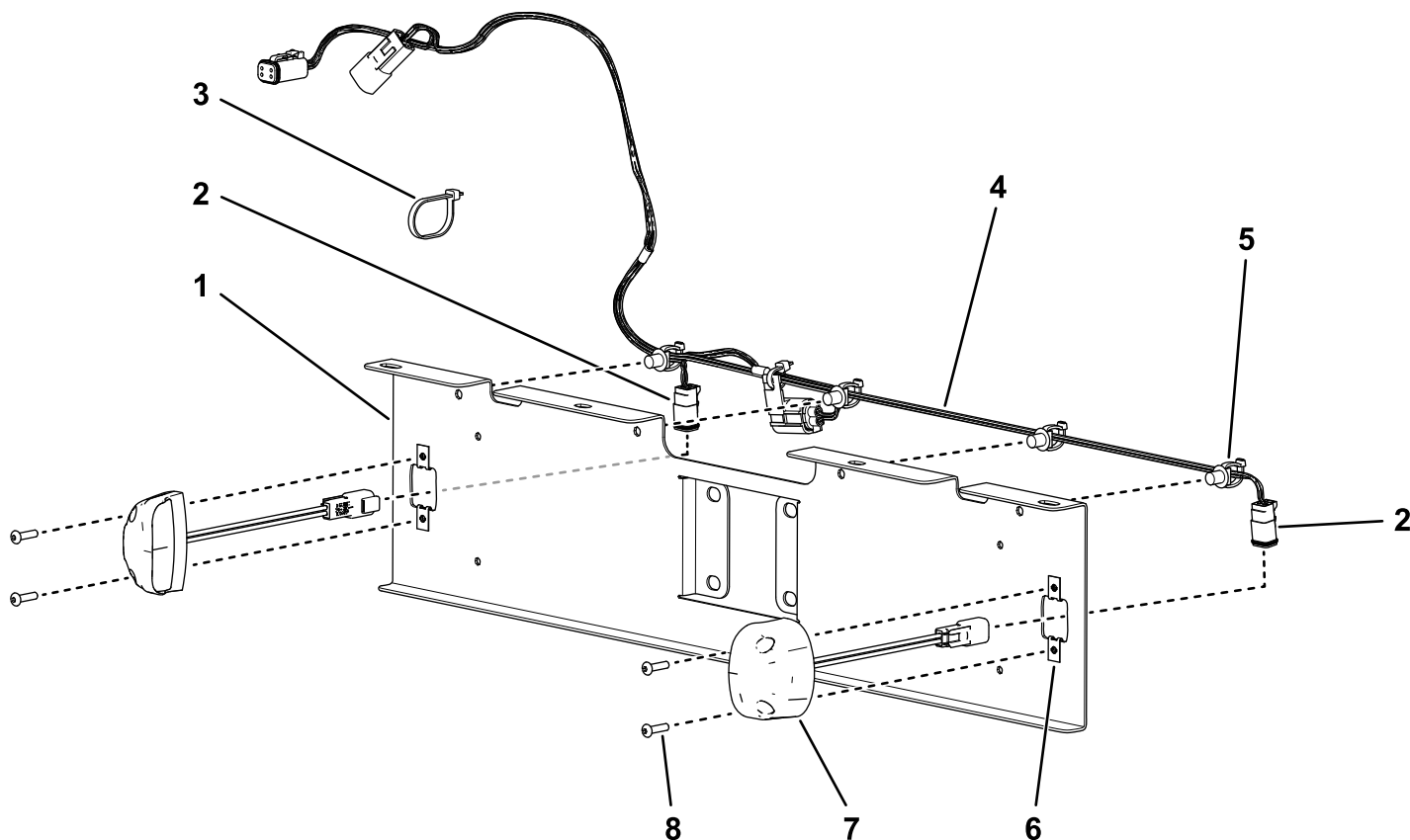


図 1

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. ナンバープレート ブラケット | 5. プッシュインファスナー |
| 2. ライト用コネクタ | 6. クリップナット |
| 3. ケーブルタイ | 7. ナンバープレート用ランプ |
| 4. ナンバープレート用ワイヤハーネス | 8. 六角ソケットヘッドボルト |

g398639

5. 以下の手順で、ワークマンにブラケットを取り付ける

- **ワークマン GTX:** 六角フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"4本を使用して、荷台の下側に取り付ける図 2のA。

注 公道走行用ランプキットとブレーキ方向指示器キットは、ワークマン GTX のスチール製荷台に対応していません。

- **ワークマン MDX:** 荷台の下側についている既存のフランジヘッドボルト2本を外し、これらを使用して取り付ける図 2のB。
- **ワークマン HDX:** ヒッチプレートについている既存のフランジヘッドボルト4本を外し、これらを使用して取り付ける図 2のC。

注 ワイヤハーネスがヒッチの上を通っていることを確認すること。

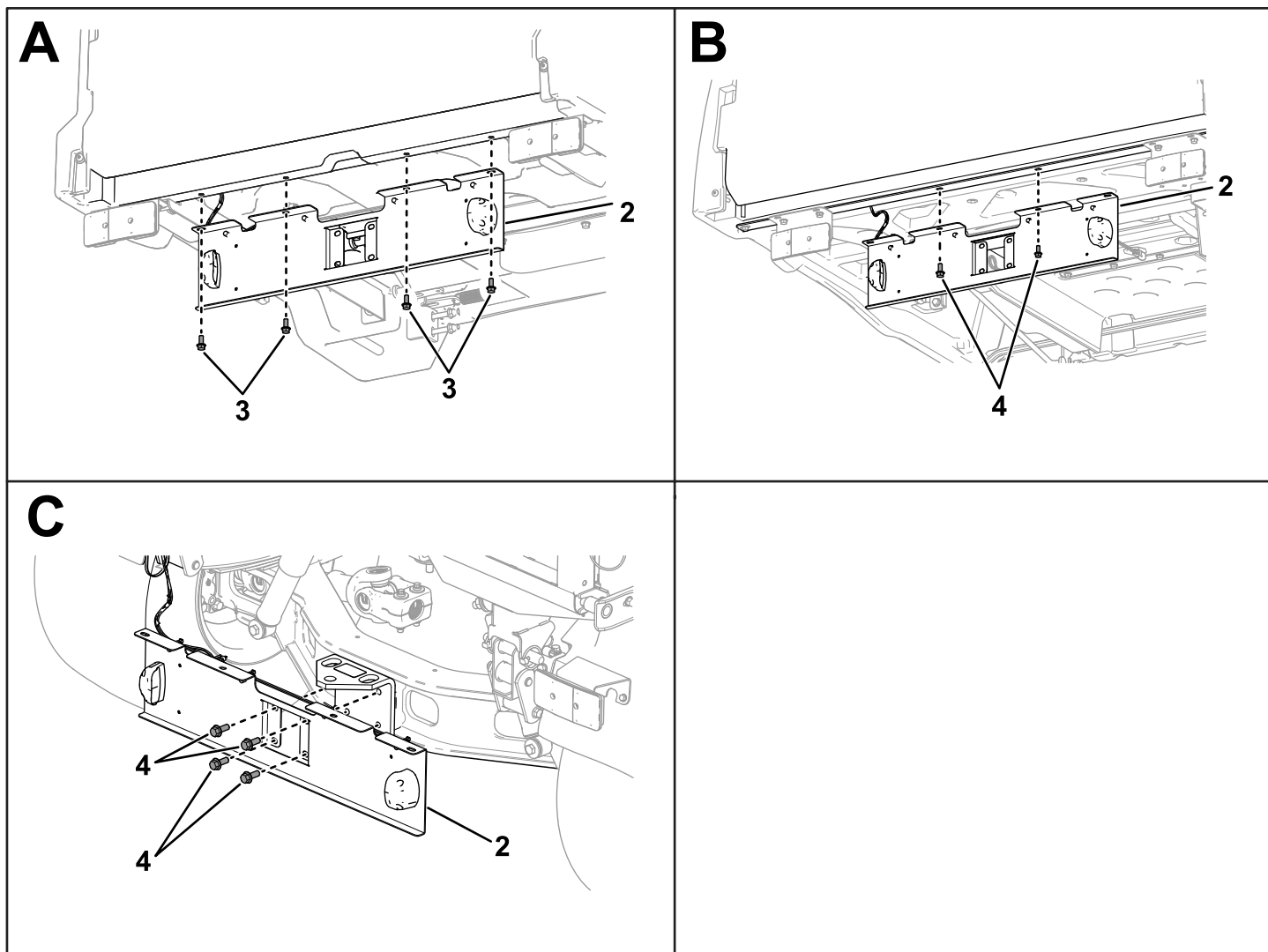


図 2
後

g398811

1. 機械の後部
2. ブラケット

3. 六角フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
4. 既存のフランジヘッドボルトMDX と HDX

6. 左側テールライトから、ブレーキ方向指示器キットのワイヤハーネスを外し、このキットのテールライトコネクタを接続する図 3。
7. このキットのワイヤハーネスについている他のコネクタを、いま取り外したブレーキ方向指示器キットのワイヤハーネスに接続する図 3。



g398821

図 3

左側テールライト背面図

1. 公道走行用キットのワイヤハーネス
2. 左側テールライト
3. ブレーキ方向指示器キットのワイヤハーネス

8. ワイヤハーネスの余っている部分をケーブルタイで機体に固定する。

3

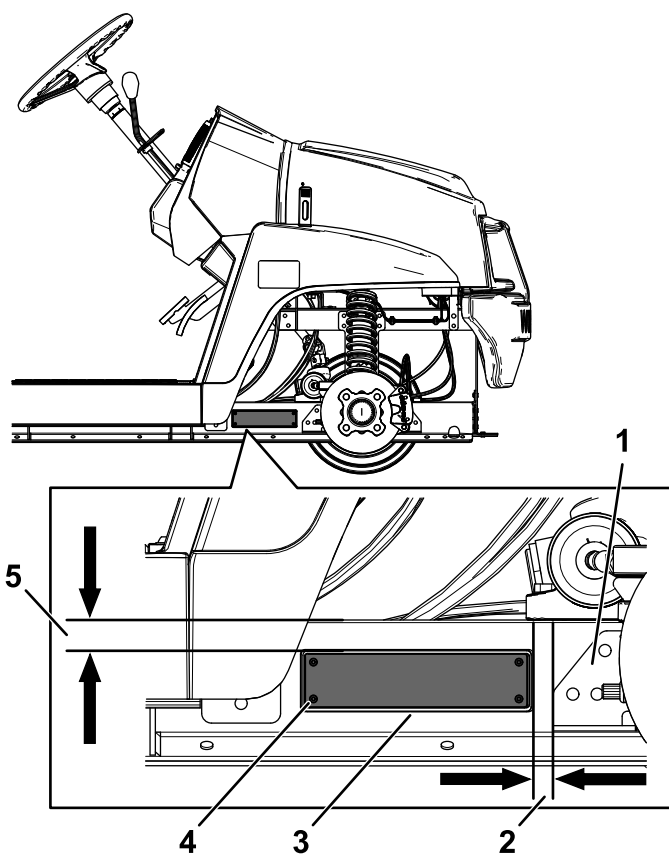
銘板を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	銘板
4	ポップリベット3 x 10 mm

銘板を取り付けるワークマン GTX

1. 図 4 の位置にポップリベット3 x 10 mm4本で銘板を取り付ける。



g398839

図 4

タイヤは図示しておりません

1. ブラケット
2. ブラケットから左に 13 mm
3. 銘板
4. ポップリベット3 x 10 mm
5. フレームの縁から下に 19 mm

2. 図5に示す位置に、シリアル番号を刻印する。

注 文字の大きさは7 mm 角以上としてください。

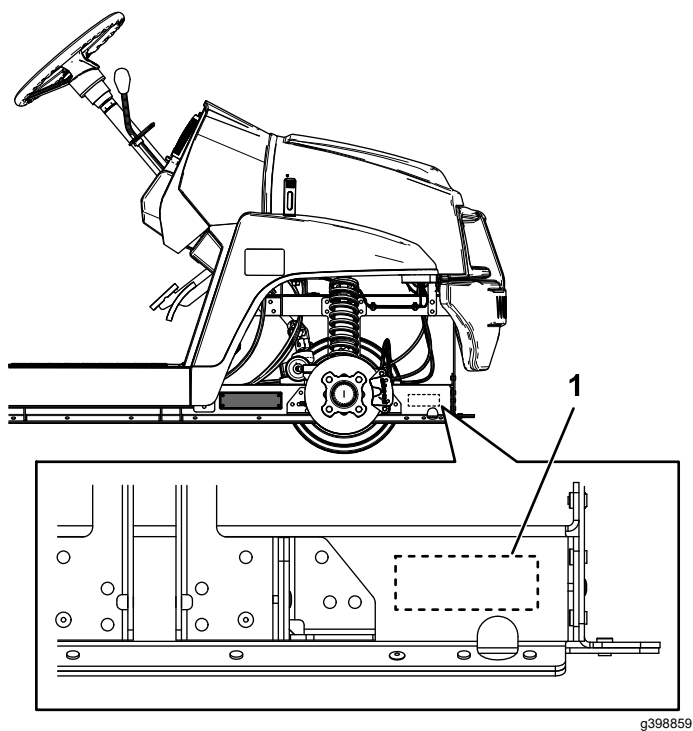


図 5

タイヤは図示しておりません

1. ここにシリアル番号を刻印

銘板を取り付けるワークマン GTX

1. 図6の位置にポップリベット3 x 10 mm4本で銘板を取り付ける。

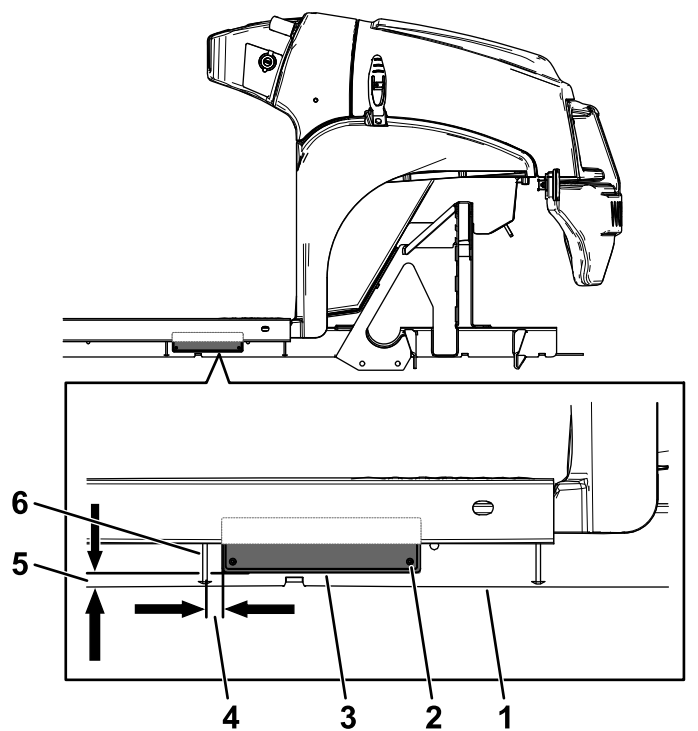


図 6

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. フレーム | 4. 11 mm |
| 2. ポップリベット3 x 10 mm | 5. 11 mm |
| 3. 銘板 | 6. サポート |

2. 図 7 に示す位置に、シリアル番号を刻印する。

注 文字の大きさは 7 mm 角以上としてください。

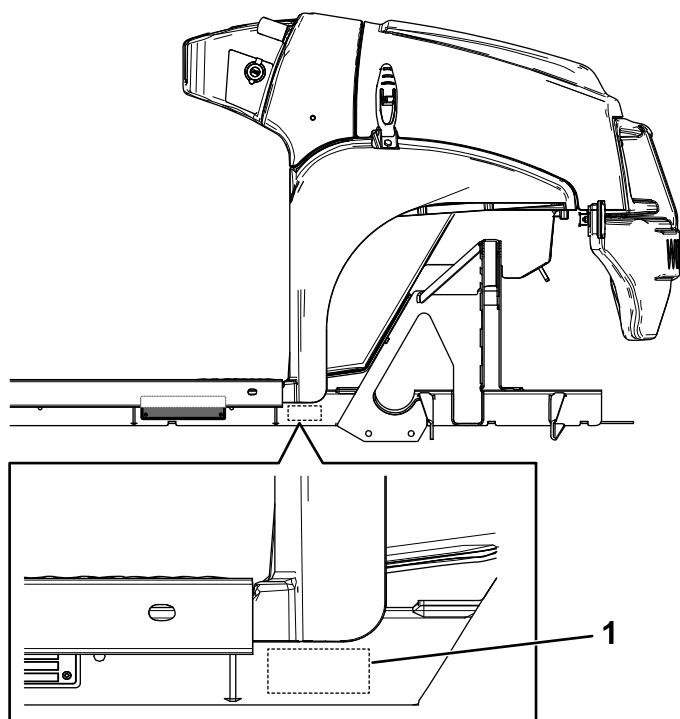


図 7

g398913

1. ここにシリアル番号を刻印

銘板を取り付けるワーカーマン HDX

1. 図 8 の位置にポップリベット3 x 10 mm4本で銘板を取り付ける。

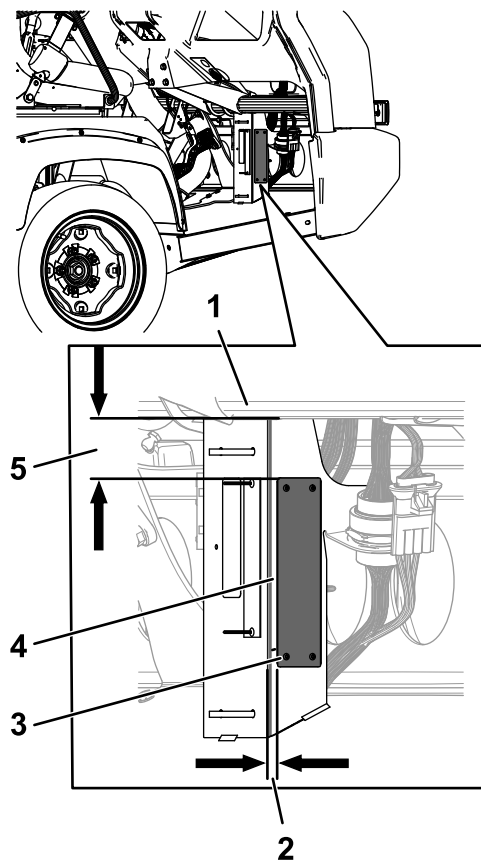


図 8

g398943

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. サポートチューブ | 4. 銘板 |
| 2. 8 mm | 5. 47 mm |
| 3. ポップリベット3 x 10mm | |

2. 図 9 に示す位置に、シリアル番号を刻印する。

注 文字の大きさは 7 mm 角以上としてください。

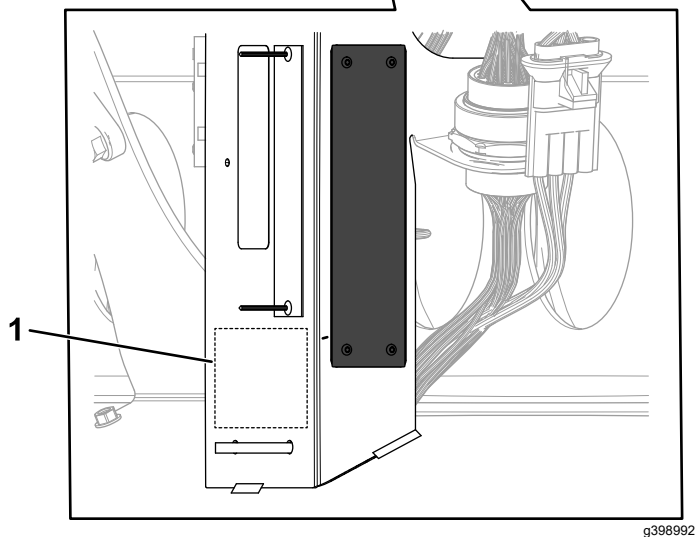
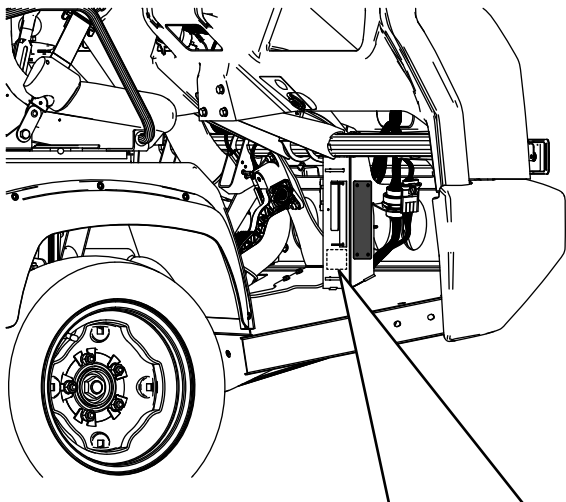


図 9

1. ここにシリアル番号を刻印

4

速度表示板を取り付けるGTXのみ

この作業に必要なパーツ

2	プレート取り付けブラケット
3	速度表示板 25 km/h
17	ポップリベット 3/16 x 15/16"

銘板を座席ベースの側面に取り付ける

1. 機体左側で、座席ベースの左下から 51 mm の位置にマーキングする 図 10。
2. その場所から真上に 57 mm の位置にマーキングする 図 10。
3. ステップ 2 で付けたマークから 83 mm 左の位置にマーキングする 図 10。
4. ステップ 3 で付けたマークから左へ 80 mm を測り取り、そこから真上に 299 mm の位置にマーキングする 図 10。
5. ステップ 4 で付けたマークから 83 mm 右の位置にマーキングする 図 10。
6. マークを打った場所 4 ヶ所に直径 5 mm の穴を開ける 図 10。

▲ 注意

座席ベース側面への穴あけは十分注意して行うこと。

ワークマン GTX ガソリンモデルでは、座席ベースの後ろの運転席側に燃料タンクがあり、助手席側にバッテリーが配置されている。

ワークマン GTX 電動モデルでは、座席ベースの後ろの運転席側にバッテリー充電器が配置されている。

ワークマン リチウムモデルでは、座席ベースの後ろの助手席側にバッテリー充電器が配置されている。

いずれの場合も、ドリルの刃でこれらの機器を傷つけないように注意が必要である。

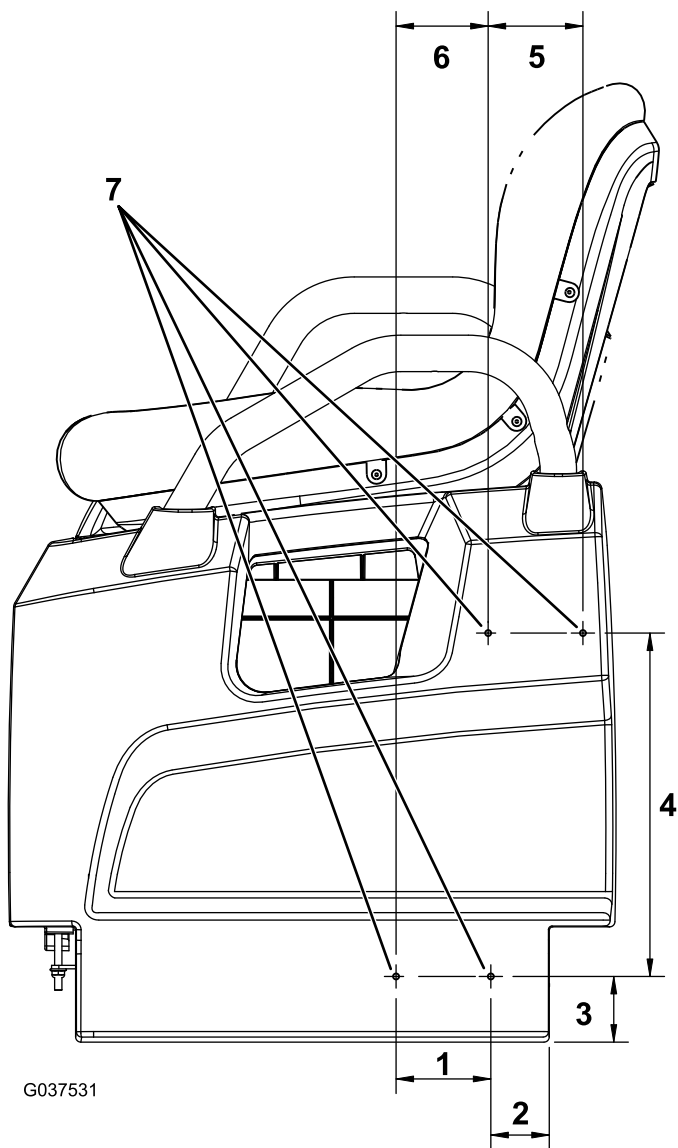


図 10
図は機体左側

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 83 mm | 5. 83 mm |
| 2. 51 mm | 6. 80 mm |
| 3. 57 mm | 7. これら 4 ヶ所に穴を開ける。 |
| 4. 299 mm | |

7. 座席ベースの側面にプレート取り付けブラケットを取り付けるポップリベット3/16 x 15/16"4本で図 11のように取り付ける。

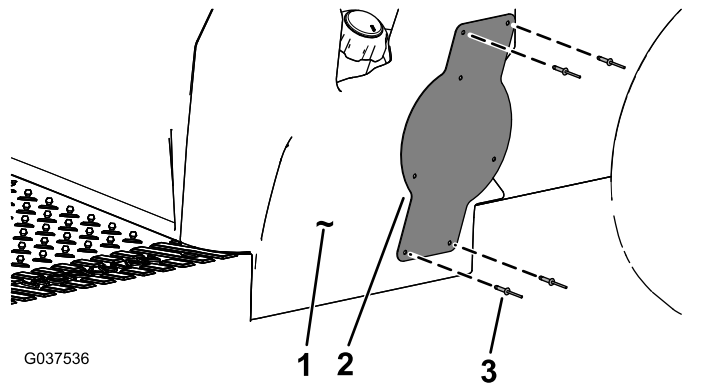


図 11
図は機体左側

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 座席ベース側面 | 3. ポップリベット3/16 x 15/16" |
| 2. プレート取り付けブラケット | |

8. ブラケットに速度表示板を取り付けるポップリベット3/16 x 15/16"3本で図 12のように取り付ける。

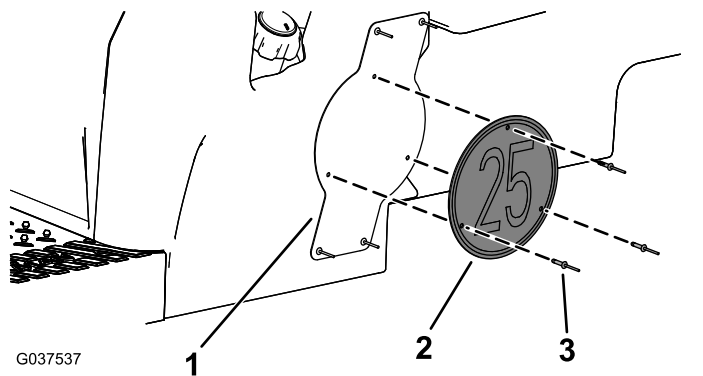


図 12
図は機体左側

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. プレート取り付けブラケット | 3. ポップリベット3/16 x 15/16" |
| 2. 速度プレート | |

9. 機体の反対側でも同じ作業を行う。

テールゲートに速度表示板を取り付ける

- テールゲートの右側で、ゲートの右端から 95 mm の位置と、ゲート上部から 70 mm の位置にマーキングする図 13。
- ステップ1で付けたマークから下へ 128 mm の位置と、左右それぞれ 74 mm の位置にマーキングする図 13。
- マークを打った場所 3 ヶ所に直径 5 mm の穴を開ける図 13。

重要穴はテールゲードの壁 1 枚だけを通させてください。

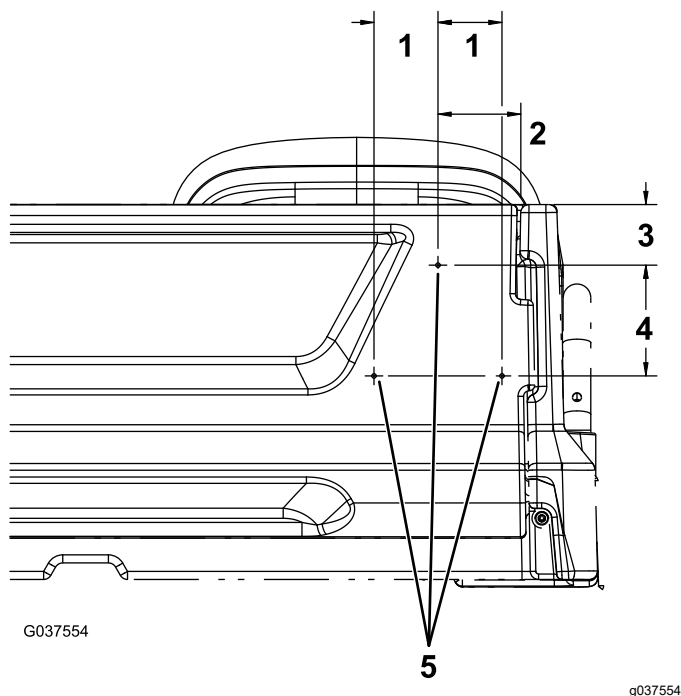


図 13

1. 74 mm
 2. 95 mm
 3. 70 mm
 4. 128 mm
 5. これら 3 ヶ所に穴を開ける。
4. テールゲートに速度表示板を取り付けるポップリベット3/16 x 15/16"3本で図 14のように取り付ける。

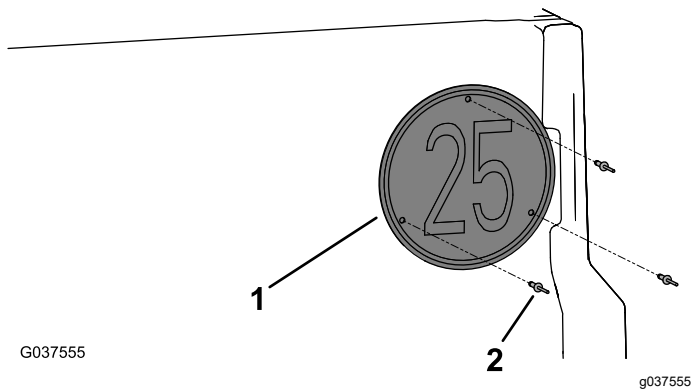


図 14

1. 速度プレート
2. ポップリベット3/16 x 15/16"

5

速度表示板を取り付けるGTXのみ

この作業に必要なパーツ

3	速度表示板 25 km/h
9	ポップリベット 3/16 x 15/16"

荷台の側面に速度表示板を取り付ける

1. 荷台の左側で、モールドの右端から 136 mm の位置と、荷台の上端から 60 mm の位置にマーキングする図 15。
2. ステップ1で付けたマークから下へ 128 mm の位置と、左右それぞれ 74 mm の位置にマーキングする図 15。
3. マークを打った場所 3 ヶ所に直径 5 mm の穴を開ける図 15。

重要穴はテールゲードの壁 1 枚だけを通させてください。

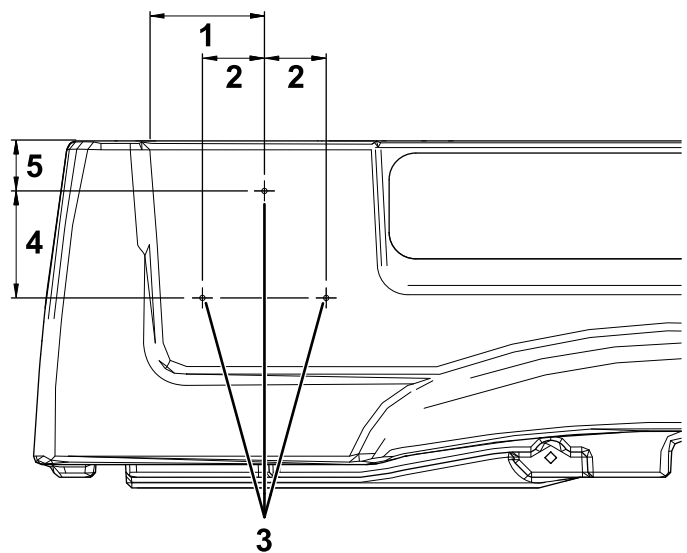


図 15

図は機体左側

1. 136 mm
2. 74 mm
3. これら 3 ヶ所に穴を開ける。
4. 128 mm
5. 60 mm

4. 荷台側面に速度表示板を取り付けるポップリベット3/16 x 15/16"3本で図 16のように取り付ける。

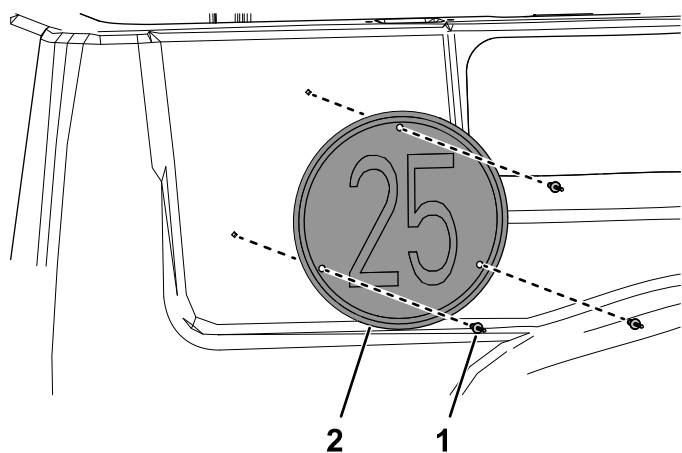


図 16
図は機体左側

5. 機体の反対側でも同じ作業を行う。

テールゲートに速度表示板を取り付ける

1. テールゲートの右側で、ゲートの右端から 130 mm の位置と、ゲート上部から 60 mm の位置にマーキングする図 17。.

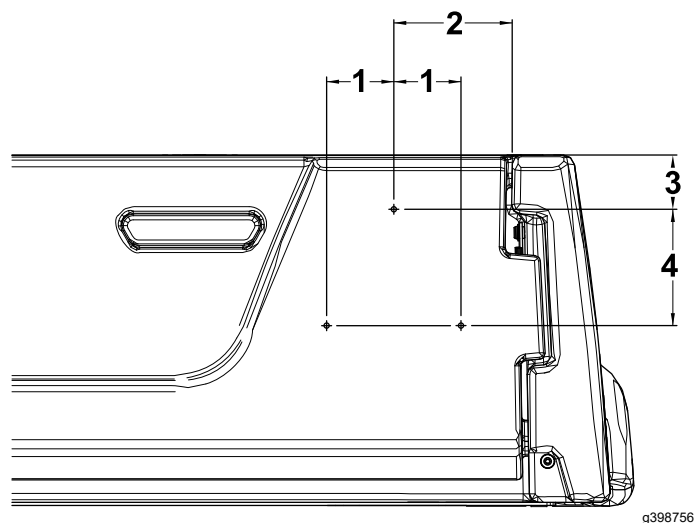


図 17

1. 74 mm
 2. 130 mm
 3. 60 mm
 4. 128 mm
 5. これら 3 ヶ所に穴を開ける図 17。
2. ステップ 1 で付けたマークから下へ 128 mm の位置と、左右それぞれ 74 mm の位置にマーキングする図 17。
 3. マークを打った場所 3 ヶ所に直径 5 mm の穴を開ける図 17。

重要 穴はテールゲードの壁 1 枚だけを貫通させてください。

4. テールゲートに速度表示板を取り付けるポップリベット 3/16 x 15/16" 3 本で図 18 のように取り付ける。

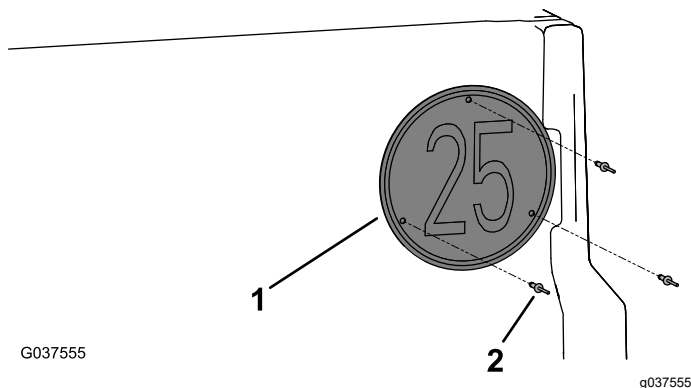


図 18

1. 速度プレート

2. ポップリベット 3/16 x 15/16"

6

速度デカルを取り付けるHDXのみ

この作業に必要なパーツ

3	速度デカル 32 km/h
---	---------------

荷台の側面に速度デカルを取り付ける

1. 荷台の左側で、図 19 のように 2 本目と 3 本目のチャンネル部材の間に速度デカルを貼り付ける。

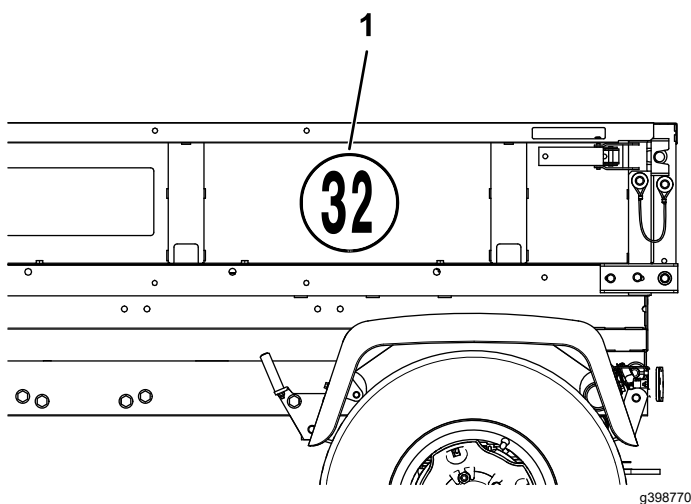


図 19

1. 速度デカル 32 km/h

2. 機体の反対側でも同じ作業を行う。

テールゲートに速度デカルを取り付ける

図 20 のように、テールゲートの後部ロゴと右側チャンネル部材との間に速度デカルを貼り付ける。

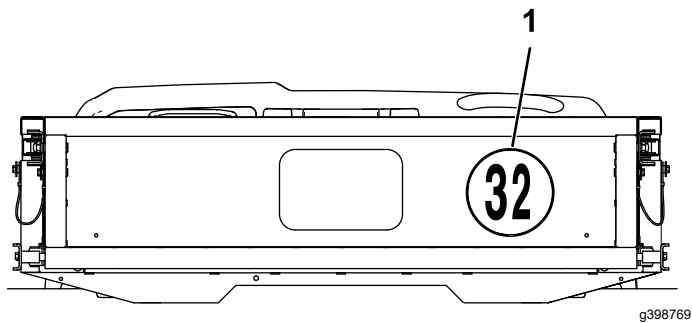


図 20

1. 速度デカル 32 km/h

7

方向指示器ライト用ブラケットを取り付けるHDX のみ

この作業に必要なパーツ

2	方向指示器ライト用ブラケット
4	キャリッジボルト #10 x 1/2"
4	ロックナット #10

手順

1. 方向指示器ライトをフードに固定しているプラスヘッドボルト 4 本とナットを外す 図 21。

注 外したねじ類すべて再利用します。

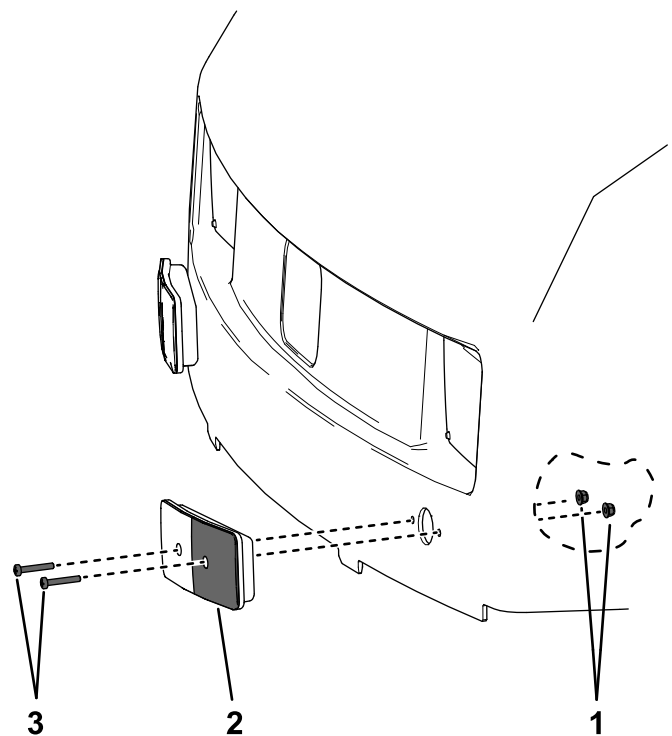


図 21

1. プラスヘッドボルト
2. 方向指示器ライト
3. ナット

2. フードの内側で、方向指示器ライト用の穴の隣にある印 4ヶ所を探し出し、その位置に 図 22 のように直径 6 mm の穴を開ける。

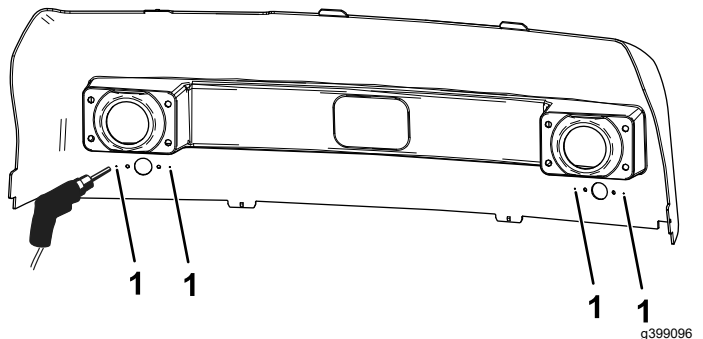


図 22

図はフードの内側

1. 直径 6 mm の穴を 4 つ開ける

3. 方向指示器ブラケット 2 個をフードに取り付けるキャリッジボルト #10 x 1/2" 4 本とロックナット #10 4 個を使用する 図 23。

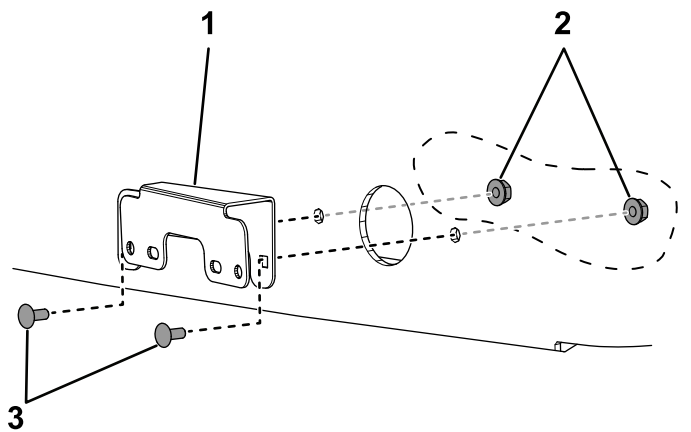


図 23

g399149

1. 方向指示器ブラケット
2. ロックナット (#10)
3. キャリッジボルト#10 x 1/2"

4. ブラケットにライトを取り付けるステップ1で外したボルト類を使用する 図 24。

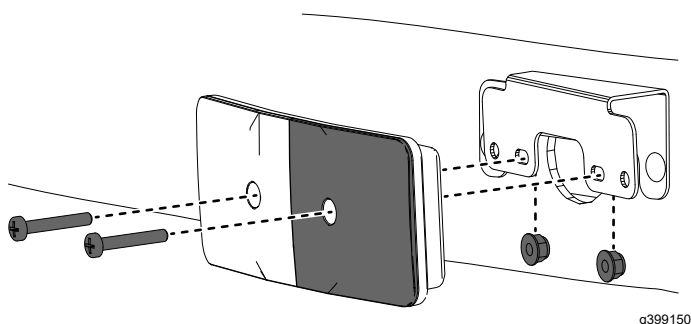


図 24

g399150

9

ランプ類の点灯確認

必要なパーツはありません。

手順

注 スイッチを操作する人と点灯を確認する人が組になって行うのがよいでしょう。

1. 運転席に座り、キーを ON 位置にする。
2. ライトのスイッチを ON 位置にする。

注 ヘッドライトとナンバープレートライトが点灯すれば正常。

3. 方向指示器を左折、右折方向に操作する。

注 左折、右折それぞれの場合に、車体前部でポジションライトが点滅し車体後部でテールライトが点滅すれば問題なし。

4. ブレーキペダルを踏み込む。

注 ブレーキライトが点灯すれば問題なし。

5. キーを OFF 位置にして抜き取る。

8

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

手順

バッテリーのマイナスケーブルをバッテリーに接続する。

メモ

メモ



Count on it.